

(別添)

「異システム間の周波数共用技術の高度化事業」に係る
プログラムディレクターの募集要項

平成31年1月

総務省総合通信基盤局電波部電波政策課

目 次

1. 異システム間の周波数共用技術の高度化事業の概要..... 2
2. 本事業に係るプログラムディレクターの業務概要..... 2
3. 応募方法等について..... 3

本募集は、平成 31 年度の予算成立後、可能な限り早期に研究開発等を開始するために、予算成立前に行うこととしているものです。今後、内容等に変更等があり得ることをあらかじめ御了承ください。

総務省では、第5世代移動通信システム（5G）等の新たな電波利用ニーズに対応するため、周波数の効率的な利用や共同利用を一層推進することを目的として、平成31年度から新たに「異システム間の周波数共用技術の高度化事業」を実施する予定です。

本事業の実施にあたり、研究開発等を効果的に推進するため、各研究を統合的かつ一体的な視点から把握し、本事業の委託先（企業や研究機関等）に対して最適な助言や指導を行える人材として、事業全体を統括するプログラムディレクターを募集します。

1. 異システム間の周波数共用技術の高度化事業の概要

本事業は、5G等の新たな電波利用ニーズに対応するため、5G等と既存無線システムとの高度な周波数共用を実現するための技術の研究開発とデータベース等を活用した周波数共用システムの実現を目指します。

具体的には、様々な既存無線システムの電波の利用状況をリアルタイムに把握し、時間や場所毎に電波の空きを見つけ出し5G等で利用可能とする高度な周波数共用を実現するためのダイナミックな周波数共用・干渉回避技術等の研究開発と、5Gと既存無線システムの運用を管理するためデータベース等を活用した周波数共用システムの構築のための調査検討を実施します。

本事業は、平成31年度から2カ年の計画により、当該研究開発と調査検討を一体として進め、研究開発等の成果を確実に社会実装に繋げていくことが求められています。

また、本事業をより効果的に推進するために、事業全体を統括し、専門的見地から最適な助言を行える人材として、プログラムディレクターを配置します。

2. 本事業に係るプログラムディレクターの業務概要

2-1 業務内容

プログラムディレクターは本事業全体を統括し、本事業で実施する研究開発及び調査検討を効果的に推進するため、各研究を統合的かつ一体的な視点から把握し、本事業の委託先（企業や研究機関等）に対して、最適な助言や指導を行い、各研究を最適化することを役割とします。

また、総務省が開催する「外部有識者による評価会」において、本事業の進捗等について説明を行い、質疑応答などの対応を求められることがあります。

今回の対象となる研究開発及び調査検討は次のとおりです。

- (1) 異システム間の周波数共用技術の高度化に関する研究開発
- (2) 移動通信システムと他の無線システムとのダイナミックな周波数共用に関する調査検討

※ 本事業の概要については、別紙の資料をご参照下さい。

2-2 採用形態

本事業のプログラムディレクターとして採用される者は、総務省が外部有識者として委嘱します。なお、委嘱に係る業務日数は年間20日程度以内を見込んでいます。

2-3 委嘱期間

委嘱の日から平成33年3月31日までの約2年間

2-4 実績・資質

- ①無線通信分野に広い知見及びネットワークを有し、マネジメント遂行のために必要な研究実績及びマネジメント実績を有する者
- ②目標達成に向けての責任感、マネジメント意欲及びリーダーシップを有する者
- ③研究者の育成等実績を有する者

2-5 報酬等

依頼する業務内容に基づき、総務省の規定に基づき謝金及び旅費を支給します。なお、謝金は1回あたり、20,500円（消費税込・源泉徴収前）をお支払いします。

3. 応募方法等について

3-1 応募方法・締め切り

本募集要項に従って、応募書類を作成し、提出期限までに郵送にてご提出下さい。なお、持参による提出は受け付けませんのでご注意ください。

締め切り：平成31年2月14日（木）13時（必着）

3-2 応募書類の提出先

総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課 共用係宛て
〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館10階

※封筒の表に「「異システム間の周波数共用技術の高度化事業」に係るプログラムディレクター応募書類在中」と朱書きして下さい。

担当：宮澤周波数調整官、宇野共用係長

電話：03-5253-5874（直通）

FAX：03-5253-5940

E-mail：freq-ap_atmark_ml.soumu.go.jp

（※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。送信の際

には、「@」に変更してください。)

3-3 提出書類

応募書類：【様式1】及び【様式2】・・・・・・正本1部及び副本2部

※応募書類は白黒・カラー印刷は問いません。A4、片面印刷、クリップ留めにご協力をお願いします。

※応募書類等は、日本語で作成してください。

3-4 選考方法

書類により選考します。(必要に応じて、面接を実施することがあります。)

選考結果は、郵送にて応募者にお知らせする予定です。

選考過程及び採用・不採用の理由に関する問い合わせには応じられませんので、予めご了承ください。

3-5 注意事項

- (1) 選考過程において、事務局から応募書類の内容について問い合わせを行う場合や、追加資料の提出を求める場合があります。
- (2) 応募に際して提出していただいた書類一式は返却いたしませんのでご了承ください。
- (3) 提出いただいた履歴書等の個人情報、本業務以外には一切利用いたしません。

【様式1】応募書類 [表紙]

平成 年 月 日

総務省総合通信基盤局
電波部電波政策課 御中

住 所：
所属機関名：
応募者氏名： 印

「異システム間の周波数共用技術の高度化事業」に係る
プログラムディレクターの募集について

「異システム間の周波数共用技術の高度化事業」に係るプログラムディレクターに応募します。

【様式2】応募書類 [本文]

I. 応募者に関する情報

1. 基本情報

(1) 氏名 (ふりがな)

(2) 生年月日

年 月 日 (西暦で記入ください)

(3) 所属機関名及び役職

(4) 所属機関連絡先

〒

住所

e-mail

電話

/FAX

(5) 連絡先 (総務省からの連絡を受けるところ)

所属機関、現住所、その他 () (いずれかのを■に塗りつぶしてください)

〒

住所

e-mail

電話

/FAX

2. 略歴

(記入例) 【学歴、職歴、その他特記すべき活動歴等に分けて記入してください】

学歴 (大学卒業以降)

平成〇〇年 〇〇大学〇〇学部卒業

平成〇〇年 〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程〇〇専攻修了

平成〇〇年 〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇専攻修了

平成〇〇年 博士 (〇〇学) (〇〇大学) 取得

職歴 (主な職歴と職務内容)

平成〇〇年～〇〇年 〇〇株式会社〇〇開発部 (〇〇〇〇〇〇について開発)

平成〇〇年～〇〇年 〇〇大学特任准教授 (〇〇〇〇〇〇に関する研究に従事)

平成〇〇年～〇〇年 〇〇株式会社〇〇事業部 (〇〇〇〇〇〇事業担当)

特筆すべき活動歴等

活動歴:

平成〇〇年～〇〇年 〇〇委員

平成〇〇年～〇〇年 〇〇委員

専門分野: 〇〇、××

3. 研究開発の実績等

(記入していただきたい内容)

無線通信分野に関して、豊富な研究経験、優れた研究成果及び有するネットワークについて、具体的に記入してください。

4. 研究マネジメント等の実績

(記入していただきたい内容)

無線通信分野に関するマネジメント、技術指導及び若手研究者の育成等の実績について、具体的に記入してください。

5. 本事業に対する取り組み方針

(記入していただきたい内容)

本事業の実施に向けて、どのように解決・アプローチを検討し、異システム間の周波数共用技術の高度化を図っていくか等について記入してください。